

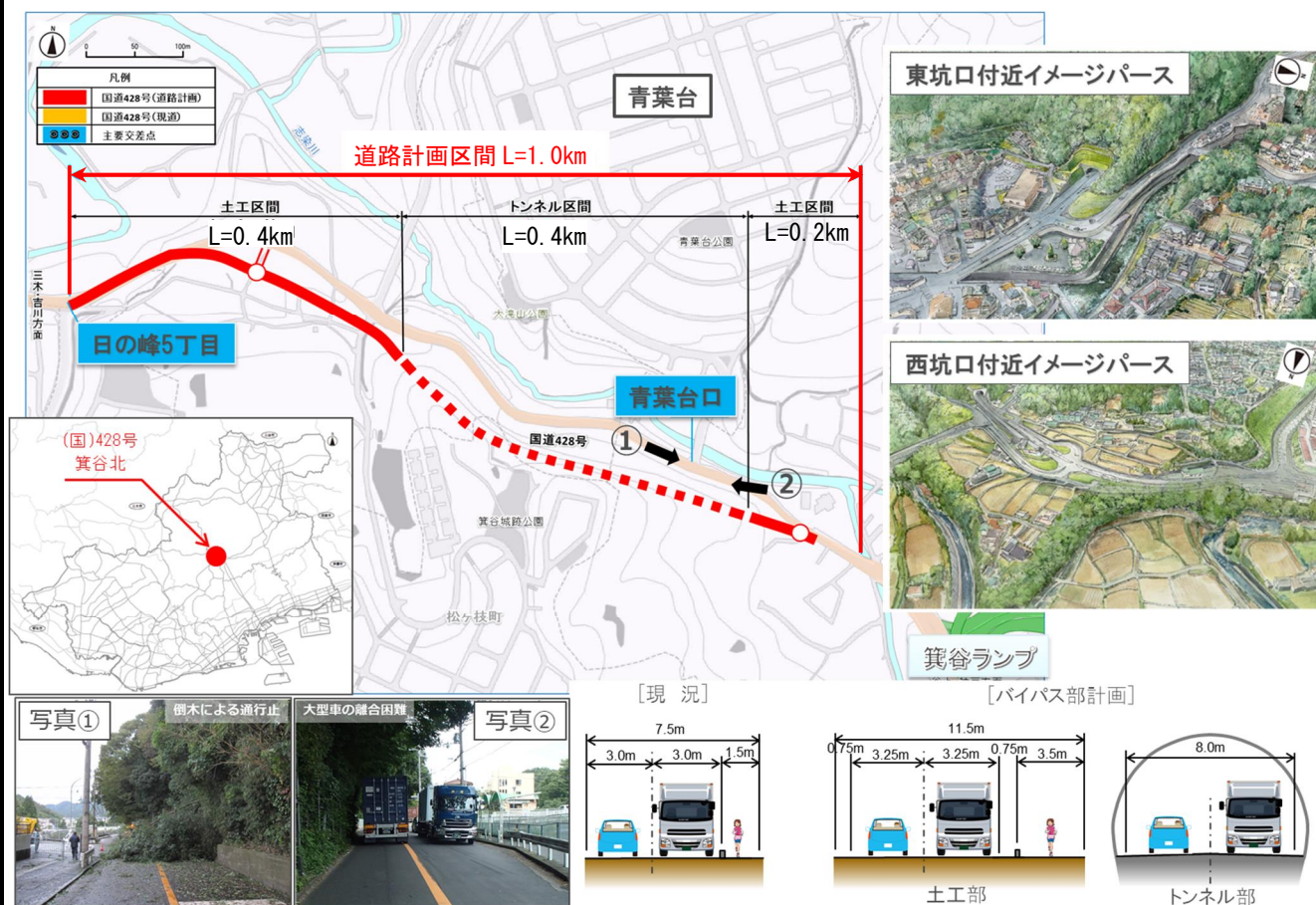
再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局 国道・技術課

担当課長名:西川 昌宏

事業名	空港・港湾等アクセス 一般国道428号 みのたにきた 箕谷北			事業区分	一般国道	事業主体	神戸市
起終点	自：兵庫県神戸市北区山田町下谷上 至：兵庫県神戸市北区山田町日の峰4丁目					延長	1.0km
事業概要							
一般国道 428 号の神戸市北区山田町下谷上～山田町原野の区間において道路が狭隘な箇所があり、本事業により約 1km の区間でバイパス整備を行うものである。また、整備区間の内約 0.4km は新たにトンネルを整備する。 今回の事業区間は、道路が狭隘で大型車同士のすれ違いが困難であることや、過去に通行止めを伴う災害が再三にわたり発生しており、異常気象時の通行規制対象路線に指定されていることから、安全で円滑な交通を確保するためバイパス整備を行うものである。							
R2年度事業化		都市計画決定なし		R2年度用地着手		R5年度工事着手	
全体事業費		約60億円		事業進捗率		約18%	供用済延長 — km
計画交通量		14,700 台／日					
費用対効果分析	B/C	EIRR	総費用		総便益		基準年
	(事業全体)	(事業全体)	(残事業)/(事業全体)		(残事業)/(事業全体)		
	1.6		44 / 51 億円		80 / 80 億円		
	(参考) 2.4 [2%]	- %	(事業費： 43 / 50 億円)		走行時間短縮便益： 76 / 76 億円		令和6年
	3.0 [1%]		維持管理費： 1.2 / 1.2 億円		走行経費減少便益： 3.3 / 3.3 億円		
	(残事業)	(残事業)	更新費： - / - 億円		交通事故減少便益： 0.59 / 0.59 億円		
感度分析	(参考) 1.8	- %	(事業全体)			(残事業)	
	交通量		B/C=-5.4～-1.1(±10%)	交通量	B/C=-6.2～-1.3(±10%)		
	事業費		B/C= 1.4～1.7(±10%)	事業費	B/C= 1.6～2.0 (±10%)		
	事業期間		B/C= 1.5～1.6(±20%)	事業期間	B/C= 1.7～1.9 (±20%)		
事業の効果等							
・ 現道区間は狭隘かつ線形が悪いため、整備によって安心・安全に通行することができる。 ・ 整備により災害時等における緊急輸送道路の寸断を回避することができる。							
関係する地方公共団体等の意見							
地域住民や近隣の産業団地の利用者などから早期整備の要望を受けている。							
事業評価監視委員会の意見							
事業継続を妥当と認める。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等							
周辺環境等に特に変化はない。							
事業の進捗状況、残事業の内容等							
用地進捗率約91%、事業進捗率約18%							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等							
令和7年度よりトンネル本体工事を推進する。							
施設の構造や工法の変更等							
トンネル工事は昼夜2交代施工が一般的かつ安価であるが、夜間工事は騒音・振動を基準値内に抑えるために仮設備費用が増大することから、費用削減の目的で施工時間帯を昼施工のみに見直した。							
対応方針		事業継続					
対応方針決定の理由							
本事業の完成により交通の円滑化、安全性の向上や災害時における道路ネットワークの確保など、大きな効果が期待されること、また、費用便益分析が妥当であるため。							

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。〔 〕内は社会的割引率の値)